

佐久市子ども未来館リニューアル検討委員会 議事録

日時：平成 29 年 2 月 9 日（木）

14:15～16:35

場所：佐久市役所 301 会議室

1 開 会

2 委員長あいさつ

【委員長】

活発な議論をお願いします。

3 部長あいさつ

1 月 1 4 日に油井亀美也宇宙飛行士の講演会の開催状況について報告

4 協議事項（議長：委員長）

（1）佐久市子ども未来館のあるべき姿報告書について

【事務局】

資料により前回からの変更点を説明

【質問・意見】

【委員】

前回女性の意見を聞く機会をと言う意見がありましたがどうなるか？

【事務局】

未来館で取っているアンケートから女性の意見を抽出してご提供します。

【委員】

科学の定義が変わると展示する内容も変わるため、子どもにも分かりやすい科学の定義が必要だと思う。

そこに経済の概念を入れてコンテンツを考えることが大切だと思う。

【委員】

科学の定義は非常に重要とされていて、私は「自然の不思議を見つめて、考えて、上手く使う」と言うのが科学と思っています。

【委員】

社会が失敗に対する寛容度が低くなってしまい、挑戦することが許してもらえない雰囲気が出来上がっている気がする。

科学館では答えを見つけるきっかけを与えて、答えは自分で探す、答えのない科学館みたいな仕組みがあってもいいと思う。

科学は失敗しないと、より良い物や新しい視点が入ってこない。

【委員】

実験でも多様性があれば失敗とか成功とか関係なくなる。

【委員】

条件を変えた実験の結果は、それが成功であり、この条件がなぜそうなったのか疑問点を次々に考えていくことが大切。

【委員】

最近の若い人はスマホなんかで子育てしていて、素朴な体験や失敗をできないで育ってきている。

世の中の不思議を体験できる現体験が必要ではないか。

【委員】

子どもたちに本質的な所を教えようとする、今の経済の発展にあえて逆らうようなことをするかどうかという事でありかかなり難しい館運営の選択になると思う。

科学技術が発展してくると実際には実験を行わない。今は新しい製品を製造しようとしたときにプログラムを組むとシミュレーションで結果が出てくる。

【委員】

だから感性の無い子どもが育っていて、人に害を与えてしまう子どもが育っていて、我々が少しずつ戻してやらないといけない。

大変になってきているから素朴なことが必要になっていると思う。

【委員】

だから子どもたちに教えなくてはいけない本質とは何かとは非常に難しい話だと思います。

【委員】

タッチパネルやソフトのプログラミングに興味を持たせて逆算で勉強させていけば面白くなる。科学は逆算で中のコンテンツがどうなっているか子どもたちが考えを広げていくことが手取り早いと思う。

【委員】

今の話を踏まえ、「子どもたちが普段の遊びや生活を通して、自然や科学に触れる機会が少なくなってきたおり、そのため、自然の中の不思議を感じたり体験したりすることが少なくなってきた。」と記載しておき、コンセプトの所で何か記載を追加することとします。

【委員】

来ていない人たちの意見があればより現状の分析ができるのではないかな？

【委員】

現状の学校でも学習指導要領には書いていないような実験が行われていることがある。

現状分析の所で理科の実験をもっともっとやりたいが時間が足りない、資材が足りない、ところを未来館へ行ったらもっとできるようになればよいと思う。

また、友達の家遠方になると1人で遊べるゲームの時間が長くなる。

【委員】

いろんな会議で聞いてみてはどうか。

【委員】

来ない理由は都会の高度なアミューズメントと比較するので行かない。

具体的なコンテンツが大切で、要は業者のデザインや工夫が大切。

【委員】

行かない理由の一つにコミュニティーが出来ていないことがある。現在は、宇宙少年団の佐久分団だけである。

【委員】

キーワードに「不思議を感じる」とか何か加えたい。

この施設の役割として「科学への入り口」＜好奇心を刺激し、「科学する」きっかけを提供する＞という部分を強調して言うのが良いのではないかと思う。

【委員】

特にターゲットが絞られてきているので、できれば幼児が何回も来たくなるようなものが充実しているといいのではないかと思います。

【委員】

対象が幼児や子どもになるので「体を育てる」と言うのが良いと思う。

【委員】

科学と言葉で書くと学問をイメージするが、身の回りや世の中すべてが科学で成り立っている。

【委員】

「好奇心」と言う部分をもう少し強調した方が良いと思います。

【委員】

体験について言えばそんなに費用がかからないので、その分他に使えることになると思う。

【事務局】

予算的については、現段階の構想では、プロポーザルで行いたいと考えていますので、評価委員会が組織され、その評価委員会が決定する仕様中で予算が決まる予定です。

【委員】

ターゲットは、これぐらいふんわりとしていた方がよいのではないかと思います。

【委員】

メインということから言うと小さな子供に科学の素養を育んでもらうことが大きいのではないかと思います。文部科学省系の科学館ではなく、子育て支援の重きを考えて妊婦さんから来てもらえるようなところも考えておく必要があると思う。

【委員】

7ページ最後の「館外にもツアーなどで繋げていけるもの」とありますが、わかりにくいのももう少し具体的に書いてもらいたい。

8ページの展示についても今までの意見を反映したものにしてもらいたい。

【委員】

油井宇宙飛行士が名誉館長になっているので「油井宇宙飛行士特別展示コーナー」みたいなものを作っても良いのではないかと思う。

【事務局】

特別展示や常設展示という形で油井さんやJAXAなどにご協力いただいで進めていきたいと考えている。

展示品は、いろんな場所にお願ひしないといけないので、今のうちから方向性を出しておいていただくと早めに動けるのでありがたい。

【委員】

JAXAだけでなく自衛隊だったりステップステップでの協力が必要になるかと思う。

【委員】

子供たちにするとどうやって宇宙飛行士になれるのかなというところは興味を持つところで大事なところだと思う。

【委員】

9 ページ施設の活動は現状をそのまま行ってその上何か行うということで良いか。

【事務局】

結構です。

【委員】

学校ではできないことを未来館でサポートするという記述があるが、具体的にどんな何か。

【事務局】

科学クラブは岩村田小学校と田口小学校が未来館へ来ています。中学ではありませんし、天文クラブはないと思います。

【委員】

中学校ではクラブ活動ではなく部活動になって、理科部や天文部などはない。子供の数と先生の数が少なく作れない状況にある。

【委員】

高校に科学クラブがあるとすれば、そんな子供たちに何かお手伝いしてもらったらよいと思う。

【委員】

この部分は、少しカテゴリーに分けて考えた方がよい。

生涯学習を目指していくのであればどこまで念頭に入れて行うか、リニューアルした後の活動についてここでまとめていけばよいと思う。

【委員】

もう少しここで具体的な内容を記載した方がアピールにもつながり、報告書を参考にする人もわかりやすいと思う。

【委員】

少なくとも、未来館に天文クラブを作ったらどうか。

【事務局】

開館時間が平日 5 時までということが一つと、もう一つは親が両親とも働いていたりして連れてきてもらえない。

夜間のコミュニティーは難しく、観望会は年 3 回行っていい好評ではあるが、継続的に実施することは難しい。

【委員】

土日ではだめなんですか？

【事務局】

観望会や宇宙少年団の活動を土日に開催しています。

【委員】

そうなりますと、この施設活動で平日の昼間あるいは土日にやる施策だとか、先ほどのターゲットのほかに時間によるプランニングをしていかないといけないと思う。

【委員】

平日の午後のターゲット、土日のターゲット、夏休みなどの長期休みのターゲットをどうするかが大事だと思う。

【委員】

平日の昼間の子育て相談室やちびっこルームはお母さんたちに非常に人気がある。

【委員】

施設活動については、未来館のスタッフと協力してもう少し具体的に記載をしてもらい今回の議論を基に修正をして次回確認をしたい。

【委員】

資料1-2に利用状況があるのですが、学校ごとの利用状況はあるか

【事務局】

市内の学校はすべて利用している。小諸市も1校利用していないだけです。県外は登山が中止になった場合に利用する状況です。

【委員】

学校の利用状況についてもデータがあったら出してほしい。

【委員】

地域貢献として大学生がワークショップ的に実験ブースを開く取組や小学校で面白い実験を行ったクラスが発表ブースを出したりしているのでそんな、取組も面白いと思う。

【事務局】

愛称について経過説明
次回、再検討とする。

(2) 佐久市子ども未来館プラネタリウムのリニューアルについて

【事務局】

仕様の作成経過・参考資料・近年の改修状況・現行機種と最新モデルとの比較を説明

【委員】

ハイブリッドの件については、今回の議論の中でも幅広い対象者を想定しているので、表現力が増すハイブリッドと言うコンセプトが良いと思う。

現場で操作している立場から、特に強調したい性能などありますか。

【事務局】

特に加えるところはないと思う。

【委員】

最新機種の比較の中でも星の表現できる数によって金額がだいぶ違って来るがその辺に対する意見はありますか。

【事務局】

当館では子どもに星座の面白さを伝えることが大切ですので、星空をたくさん表現できるよりは映像表現の方が大切かと思えます。

【委員】

ハードはどうしても追求すれば追及するほど高いものになる、プログラムとしてどう運用して行くかが大切かと思う。

【委員】

座席の改修は行うのか。

【事務局】

この仕様で行くと投影機が大分小さくなると考えられるので座席を増やせる可能性があると思う。

他の館ではペアシートを導入したり寝て見れるところもあるので空いたスペースを有効に活用できれば良いと思う。

(3) その他

【事務局】

今回は3月23日の木曜日を佐久平交流センターで予定しています。

5 閉会